



竹村石材新聞



厳しい暑さが続く8月、いかがお過ごしでしょうか。

以前もご紹介しましたが、これまで何冊も本を出されている方が発行しているニュースレターに、私の母が畑で作ってお裾分けしたジャガイモのことを書いていただきました。

そのジャガイモで、ポテトサラダや鍋いっぱい煮のころかしを作ったそうです。ジャガイモは大好物だそうで、喜んでいただけて何よりです。

とてもマメな方で、ニュースレターにはジャガイモ料理の他に、紫蘇味噌作りや植木鉢で育てているブラックベリーのことも紹介してありました。日々の暮らしの中で、

季節の恵みを楽しめるのはとても豊かなことですね。



竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名をご記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp



知っていますか? 8月の記念日

●8月28日は「気象予報士の日」です

1994年のこの日に、第1回の気象予報士国家試験が行われました。気象庁以外の方が気象予報を行う際、その予報の技術水準や信頼性を担保するための技能試験として創設され、全国ワカ所で実施されました。



平均の合格率は例年約5%程度と、とても難易度が高いことでも知られています。

■発行者 : 竹村石材株式会社

脇田 大 (わきだ まさる)

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっばらの楽しみです。



竹村公伸



脇田 大



竹村元成

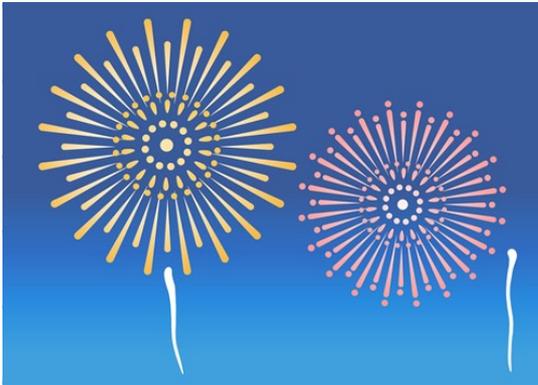
竹村石材株式会社
TEL: 076-241-0325
石川県金沢市寺町5-2-38



～お墓・仏事の三ニ知識～



★ 日本の夏の夜を彩る「花火」



日本の夏の風物詩「花火」。花火の起源は古代中国の狼煙(のろし)にあるといわれ、日本には後の火薬の発明を経て武器として伝わりました。現代まで続く花火大会の始まりは、江戸時代の享保年間に、飢饉や疫病の死者の供養・悪疫退散のために水神祭が催

され、花火が打ち上げられたことにあるとも言われています。その後、華やかなことが好きな江戸っ子たちにも受け入れられて広まっていきました。現在も全国各地で花火大会が行われていますが、そのはじまりとなった花火のように、鎮魂や慰霊の意味が込められた大会もあります。今年は花火の美しさを楽しむだけでなく、故人への思いや平和を願いながら、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



鳥取県三朝町にある三佛寺は、標高900mの三徳山に境内があります。その奥院は垂直に切り立った絶壁のくぼみに建てられていますが、その名称はなんでしょう？

- ① 投入堂(なげいれどう)
- ② 腰掛堂(こしかけどう)
- ③ 岩屋堂(いわやどう)



行者が法力でお堂を手のひらに乗るほど小さくして、岩窟に納めたと言われてています。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの思いで、発行しています。